

## 第三者評価結果報告書

### ①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

### ②施設・事業所情報

名称： 白幡フレール保育園	種別： 認可保育園
代表者氏名： 園長 西津 英剛	定員（利用人数）： 120（115）名
所在地： 221-0075 神奈川県横浜市神奈川区白幡上町10-24	
TEL： 045-435-1151	ホームページ： <a href="https://freres.ed.jp">https://freres.ed.jp</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日	2013年4月1日
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人 春明会
職員数	常勤職員： 15名      非常勤職員： 16名
専門職員	保育士 19名      栄養士 2名
	看護師 0名      調理員 4名
	用務員 0名      保育補助 6名
施設・設備の概要	居室数      保育室5室、ホール、調理室、事務室、園庭      設備等      屋上、エレベーター、ウッドデッキ、駐車場、駐輪場

### ③理念・基本方針

<p>《保育理念》          よく食べ よく寝て よく遊ぶ 白幡フレールっ子          より愛し より信じ より高く 白幡フレールっ子          そして BIG SMILE</p> <p>《保育方針》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・温かい家庭的な雰囲気の中で、一人ひとりを大切に、愛情をもって保育します。</li> <li>・遊びを重視し、友達との関わりを大切にします。</li> <li>・心を育てる保育を心がけます。</li> </ul>
--

④施設・事業所の特徴的な取組

園舎は床も壁も木を基調として造られており、木のぬくもりが感じられます。ホールには熱帯魚が泳ぐアクアリウムがあり、子どもたちに人気です。入り口から広がる大きな空間は、3階まで吹き抜けで開放感があります。園庭は全面砂地となっており、子どもが自由に砂遊びを楽しむ姿が見られます。園庭以外に屋上にも広い空間があり、子どもが思い切り走り回ったり、ボール遊びを楽しんだりしています。園内の広いホールでは、雨の日でも体を使った遊びをすることができます。各保育室にくつろいで過ごせる絵本コーナーやままごとコーナーがあるほか、2階にはゆったり過ごせる絵本コーナーが設けられ、子どもにとって快適な環境設定に努めています。

園では、子ども一人ひとりの個性と好奇心を尊重し、人とのかかわりを大切に保育を行っており、さまざまな遊びを通して「感じる力」が育てられています。専門講師を招いて体操や英語遊びも行っています。近隣には、遊具のある公園、広場のある公園、自然豊かな公園など特徴のある公園があり、天気の良い日には散歩に出かけています。近隣との関係は良好です。園の前に小学校があることから、卒園生も気軽に顔を見せてくれます。年間食育計画を立て、食育にも力を入れています。園内で野菜を栽培して食べるほか、とうもろこしの皮むきなど食材に触れることから始め、4、5歳児クラスでは、梅ジュースやみそ作り、クッキー作りを体験するなど、子どもが食に関心を持てるよう取り組んでいます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年8月20日（契約日）～ 2022年3月9日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（ 2015 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

◆子どもの成長に合わせてたくさんの体験ができるよう環境を整えています

園舎は木を基調として造られており木のぬくもりが感じられます。砂の園庭と屋上園庭があり、砂遊びをしたり、屋上で思いきりかけっこやボール投げを楽しむことができます。季節や行事に合わせて絵画や製作をするほか、各保育室とも、子どもが自分で好きなおもちゃを取り出して遊ぶことができるよう、おもちゃが種類ごとに低い棚にしまっており、遊ぶ時には好きな遊びを選んで楽しんでいます。行事の時には子どもの成長に合わせて内容を考え、5歳児クラスでは、運動会で組体操に取り組み、表現発表会では自分たちで内容やせりふを考えて劇を披露しました。また、専門講師を招いて、3～5歳児は体操、4、5歳児は英語遊びに取り組んでいます。

◆子どもが食に関心を持てるように、食育と行事食に力を入れています

子どもが食に関心を持ち、食事を楽しむことができるように、食育と行事食に力を入れています。0、1歳児クラスでは食材を見せることを中心に、2、3歳児クラスではそらまめのさやむきなど道具を使わず食材に触れる経験をしています。4、5歳児クラスでは梅干しや梅ジュース作り、みそ作りに挑戦しています。また、姿勢を良くして食べることやよく噛んで食べることなどについて、年間食育計画に基づいて栄養士や保育士が話をしています。端午の節句にはかぶと型の春巻き、ハロウィンにはカボチャのクッキー、クリスマスにはチキン、1月の節句には七草がゆを出すなど、子どもが食に関心を持ち、食事を楽しめるように行事食を工夫しています。

◇改善を求められる点

◆中長期計画や単年度事業計画の作成に、さらなる職員の参画が期待されます

園の中長期計画や単年度事業計画の作成は、現在、園長が中心となり作成し、理事会に報告し承認を得る形で進められています。その作成手順でリーダー層の職員が参画する事は決められていませんが、日々子どもや保護者と接している職員の意見や考えを事業計画に反映する事は、必要不可欠と考えられます。保育の質の向上のみならず、人材育成や保護者対応、地域交流など園運営には幅広い課題が想定されます。園長と職員が一体となって作成した事業計画を全職員に周知することにより、計画の確実な実行につながっていくものと考えられますので、今後の取り組みに期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

前回の受審後、職員の入替えもあり、今回の自己評価をする事で白幡フレールの保育や運営について職員同士で確認・周知しあうことができました。

保護者アンケートの回収率が高かった事、園の方針が大部分の保護者に浸透し、賛同が得られている事など、全体的に満足度が高かった事に9年間の積み重ねの成果を感じました。一方、どちらかといえば不満と言う声が少人数ではあるが上がっている事を受け止め、理解してもらえるよう努めていきたいと思えます。

今後も子どもを真ん中に保護者と手をつなぎ、白幡フレールの保育を大事にしていきたいと思っています。

最後に、評価調査員の方々、アンケートにご協力いただいた皆様、貴重なご意見をありがとうございました。この場をお借りし、厚く御礼申し上げます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり